

平成27年第4回市議会定例会

## 市長提案理由

(平成27年12月7日提案)

平成27年第4回市議会定例会に当たり、市政諸般の御報告を申し上げます、併せて今回提出した諸議案の概要について、御説明申し上げます。

最初に、別府市版総合戦略の策定についてです。

平成27年10月27日に、別府市版総合戦略「まちをまもり、まちをつくる。べっぷ未来共創戦略」を策定しました。

べっぷ未来共創戦略は、20年、30年先の本市の姿を見据え、平成31年度までの目標及び施策の基本的な方向と、集中して取り組むべき具体的な施策等を中心に策定しました。

べっぷ未来共創戦略は、本市の誇りを再建し、新たな誇りを創生するものです。

べっぷ未来共創戦略が、机上の空論で終わることのないように、しっかりと舵取りを行うことが私に課せられた使命だと思っています。

「加速する市役所」を念頭に置き、できない理由を探すのではなく、できる方法を考え、実行します。

策定したべっぷ未来共創戦略は、重要業績評価指標KPIに掲げた目標値を目指すとともに、各年度の実施状況について、PDCAサイクルによる施策効果を検証するとともに、社会情勢や国、県の動向を見極め、必要に応じて内容の見直しを行います。

次に、べっぷ未来共創戦略の重要な施策であります、中山間地域に居住する方々の、生活利便性向上に向けた交通インフラの整備についてです。

平成28年1月4日から、東山地域において、既存路線の一部を改編し、東山地域を100円で循環する東山循環線の実証運行を予定しています。

この実証運行をワンコインバス導入の第一歩として、市域全体について、順次ワンコインバスの本格導入に向け、スピード感を持って取り組みます。

11月6日から8日までの3日間、台湾を訪問し、昨年30万人以上を集客したアジア最大級の旅行博である「台北国際旅行博2015」へ

の参加や台湾の旅行会社9社などに対して、別府観光の宣伝を行いました。

平成26年に本市を訪れた台湾からの観光客は、韓国人観光客に次いで2番目に多く、台湾は本市のインバウンド戦略において、重要な位置を占めています。

今回の訪問で、人脈形成や協力体制の構築を図るとともに、訪日旅行者の情報収集など、多くの成果が得られましたので、今後は台湾からの観光客誘致を積極的に推進いたします。

次に、包括連携に向けた取組についてです。

地方創生、べっぷ未来共創戦略の実現のためには、大学、金融機関等の幅広い産業分野の団体と連携し、相互協力をしながら、各々の持つ専門的な知見等の資源など、互いの強みを有効活用し、推進することが重要です。金融機関をはじめとする民間企業等との間で「地方創生に関する包括連携協定」を締結し、地域社会の活性化や持続的発展を目指します。

11月26日に、本市に本店を置く大分みらい信用金庫、12月4日には、株式会社大分銀行並びに株式会社豊和銀行及び大分県信用組合と包括連携協定を結びました。

今後、事業提案等をいただき、具体的な事業展開の協議を行い、協議が整ったものから事業を実施します。

私は、未来の別府をつくる子ども達のために、より良い教育環境をつくることは、私どもの責務であると考えています。

そこで、平成28年度から全ての小中学校に、順次エアコンを設置するため、平成28年度当初予算計上に向けて、エアコン設置に関する技術的な問題などについて、検討を進めているところです。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明申し上げます。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回の補正額は7億580万円で、補正後の予算額は、総額477億5,700万円となります。

その主なものとして、総務費では、ワンコインバス導入の第一歩として、東山地区を100円で循環するバスの実証運行を実施するための経費を計上しています。

また、先の9月補正予算で承認をいただいた「産業連携・協働プラットフォームB-biz LINK」の設立に向けた調査・研究事業及び公式ホームページ再構築事業が、ともに地域住民生活等緊急支援交付金の対象事業として採択されたことに伴い、国庫支出金の追加額を計上しています。

民生費では、子ども・子育て支援新制度における保育・教育単価の決定に伴い、保育園運営費負担金を追加しています。

衛生費では、高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌の予防接種者の増加並びにインフルエンザワクチンの単価上昇により予防接種委託料の追加額を計上しています。

農林水産業費では、生産条件の不利な中山間地域で、農業生産活動を継続する農業者を支援する「中山間地域等直接支払交付金」に、新たな加算措置が創設されたことや協定面積が増加したことに伴う追加額を計上しています。

土木費では、改正耐震改修促進法で耐震診断が義務付けられた特定建築物の耐震化を促すとともに、ユニバーサルツーリズムを推進するため、耐震化と併せて、市の規定するユニバーサルデザイン仕様に改修し、避難所協定を締結した中小企業の旅館・ホテルに対しては、大規模建築物耐震改修費補助金の補助率をかさ上げし、支援します。

また、平成30年に供用開始が予定されている別府湾サービスエリアスマートインターチェンジ上り線建設工事に関する協定を西日本高速道路株式会社と締結するため、債務負担行為を計上しています。

教育費では、市道及び実相寺パークゴルフ場に隣接する野球練習場からの飛球を防止し、通行人や利用者などの安全の確保を図るため、防球ネット設置に係る費用の負担金を計上しています。

次に、特別会計の補正額は、2,410万円の減額で、補正後の予算

の総額は514億3,951万4千円となります。

主なものとして、競輪事業特別会計において選手宿舍管理棟を改築するための実施設計委託料を計上しています。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に、予算外の議案につきまして、御説明申し上げます。

予算外の議案につきましては、「条例関係14件」、「その他11件」の計25件を提出しています。

議第107号「別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について」は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、同法別表第1及び別表第2の規定により個人番号を利用できる事務のほかに個人番号を利用できる事務を定めるため、条例を改正しようとするものです。

議第108号「別府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について」及び議第120号「別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について」は、被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の一部の規定の施行に伴い、地方公務員災害補償法施行令及び非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正がされたことから、条例を改正しようとするものです。

議第109号「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」は、投票所及び期日前投票所における投票立会人の負担を軽減するため、従事すべき時間がこれらの投票所の投票に係る時間の2分の1の場合の報酬額を定めることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第110号「証人等に対する実費弁償に関する条例の一部改正について」は、農業委員会等に関する法律の一部が改正され、条例が引用する条文が改められたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第111号「特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例の一部

改正について」は、総合政策アドバイザーとして委嘱した者に係る問題に関し、市長の給料を減額するため、条例を改正しようとするものです。

議第112号「別府市職員の退職手当に関する条例の一部改正について」及び議第117号「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例の一部改正について」は、条例が引用する行政不服審査法の全部改正に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第113号「別府市税条例等の一部改正について」は、地方税法の一部改正により、地方税における猶予制度の見直しが行われ、条例に委任された事項を定める等のため、条例を改正しようとするものです。

議第114号「別府市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育長は常勤の特別職とされたことによる給料の見直しに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第115号「別府市公民館条例の一部改正について」及び議第116号「別府市市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、中央公民館及び市民会館の改修により、使用料を見直すことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第118号「別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、地方自治法に基づき市営住宅の管理を指定管理者に行わせること等に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第119号「別府市営店舗の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、市営松原住宅多目的スペースを市営店舗として管理することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第121号から議第131号までの「指定管理者の指定について」は、指定管理者に公の施設の管理を行わせることについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。